

キャラクター名
上神 織安 (うえかみ おりやす)

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン ソラリス	ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	精神科医
オプション		年齢	26	性別	男性
覚醒	無知	衝動	自傷	初期侵食率	31%
出自	疎まれた子	経験	喪失	邂逅	いいひと

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	0	0	1			1	行動値	6
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	6
精神	4	0	0			4	戦闘移動	11
社会	4	0	0			4	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
コネ: UGN幹部	
コネ: 嗜好きの友人	
コネ: 研究者	
コネ: 情報屋	
コネ: 要人への貸し	
コネ: 要人への貸し	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
記憶探索者(メモリダイバー)	P	N		
白衣	P 尽力	N 悔悟		
ワイン	P 好意	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10 残り財産P: 4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ファンアウト	2	4	セットアップ	至近	範囲(選択)	自動	-	
効果:	対象は戦闘移動を行う。移動先は対象が決定する。対象はこの効果を拒否可能。自身は対象に選択できない。1シナリオに[Lv]回まで							
タブレット	3	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果:	ソラリスのエフェクトを射程:視界に変更する。組み合わせた場合全てを変更する。1シーンに[Lv]回。							
多重生成	3	3	オート	至近	自身	自動	リミット	
効果:	《タブレット》の効果を受けたエフェクトの対象を[Lv+1]体に変更する。							
中和剤	★	2	メジャー	視界	-	自動	-	
効果:	対象が受けている暴走以外のバッドステータスを全て回復する							
癒しの水	4	2	メジャー	-	-	自動	-	
効果:	対象のHPを[Lv]D+【精神】点回復							
狂戦士	1	5	メジャー	視界	単体	自動	80%	
効果:	対象が次に行うメジャーアクションの判定のC値を-1(下限6)し、ダイスを+[Lv*2]個する							
奇跡の雫	1	6	オート	視界	単体	自動	100%	
効果:	戦闘不能とHPを[Lv*5]点回復。シナリオ1回。							
声無き声	★	-	メジャー	視界	シーン(選択)	自動	-	
効果:	大きな声に出せないことでも伝え合える							
写真記憶	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	見たものは全部覚えてるよ							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

<3行説明>
ひょろっとして身体はイマイチ強くない駆け出し精神科医26歳・支部長。半袖の白衣がトレードマーク。
引込み思案で自罰的だが自分自身を大切にしない人間や捨て鉢な人間は放っておけない。基本誰にでも優しく親切。
戦闘では全体に後方支援をしつつ、倒れた味方を蘇生させたり敵の攻撃による種々の悪影響から味方を守ったりする補助役を担う。

<詳細設定>
幼くして「ノイマン」「ソラリス」のシンドロームを発症した精神科医。後述の事故の影響から失敗を恐れ、あまり人と深い関わりを持ちたがらない。
精神科医としての自覚を持ち、その目的を忘れないためによく白衣を着ている。白衣は特注の半袖。
生まれ持った記憶力や科学への知見を活かして若くして開業し、狭いながらも「上神メンタルクリニック」の名を冠した相談室(兼UGN支部)を構えている。
協力者やイリーガルの出入りはあるものの、直属の部下が天衣真白以外ほばいないため、実際はUGNの知る人ぞ知る休憩所のような体たらくだが。
支部長となったのはその能力(と診療所の小拠点としての都合のよさ)を買われたため。
最近では桐生嚙矢をはじめとするチルドレンのメンタルチェックも請け負っている。

物心ついて間もない頃(6〜7歳頃)にシンドロームを発症。風邪を引いた母親のために自力で薬剤を錬成しようとしたところ加減を間違えて劇薬を作り出してしまい、危うく黄泉送りにしかけたことがある。
以来両親からは「薄気味悪い」「また被害を被りたくない」と遠ざけられ、わずかな資金を持たされて家を追い出されそうになったところを事故について調査していたUGN関係者に発見・保護された。
シンドロームのおかげか本人の熱意のおかげか皮肉にも大学入学と国家試験では成功を収め、無事精神科医になってからはかつて犯した失敗を二度と繰り返さないよう能力の使い方について研究しつつ、患者の治療を行ったり、時折来る依頼を受けて外で活動したりしている。
精神科医となったのは薬剤では治せない他人や自分の心の傷を癒すため。
UGNエージェントや精神科医として活動するのはひょっとしたら罪滅ぼしの意味もあるのかもしれない。